

## 令和4年度 第4回社会教育委員会議 概要

日 時： 令和5年2月21日（火）午後2時30分～午後4時30分

場 所： 逗子市役所5階 第2会議室

出 席： 角田委員（議長）、荻村委員、池上委員、小林委員、佐藤委員（オンライン参加）、  
峯尾委員、長坂委員、桑原委員、

欠 席： 粟津委員、門脇委員

事務局： 社会教育課 佐藤課長、川嶋副主幹、日高、中村（記録者）

市民協働課：石井次長、西係長、今野

傍聴者： なし

### 資 料

- |   |                    |       |
|---|--------------------|-------|
| 1 | 令和4年度社会教育課主催講座一覧   | [議題1] |
| 2 | 令和5年度社会教育課主催講座実施計画 | [議題2] |
| 3 | プラン改定資料            | [議題3] |

- 開会
- 委員、事務局紹介
- 市民協働課紹介
- 資料確認

### ●報告事項（1）教育委員会定例会について

○事： 11月教育委員会定例会後に社会教育推進プランの改定について報告し、共育のまちプラン、生涯学習活動推進プランと統合する方針について承認を得た。

### ●報告事項（2）県社会教育委員連絡協議会 第3回理事会について

○出席した委員より報告

○委： 2月6日に神奈川県民センターにて開催。予算案・決算案の報告があった。

●報告事項（3）県社会教育委員連絡協議会 地区研究会について

○事： 愛川町と箱根町で行われた。愛川町は人権保護委員の活動・人との繋がり・文化の継承について、箱根町はスクールソーシャルワーカー・地域イベントについての発表があった。

●議題（1）令和4年度社会教育主催講座について

○事務局より、今年度の実施状況について説明

○事： 令和4年度各講座は滞りなく進み、残すは4つの講座だけとなった。家庭教育講座は全部オンラインで開催した。

○委： 障がいテーマにした講座はどのような感じだったのか。

○事： 聴覚障がいの講座は高齢者の参加も多く、多数の方に来てもらった。視覚障がいの講座はワークショップなど子どもも参加し、大変広がりがあった。

○委： オンライン参加で参加者同士が討論できるのを知らなかった。講師が一方向的に話すだけでなく、こういったシステムを使うのはとても良いと思う。

●議題（2）令和5年度社会教育課主催講座の開催予定について

○事務局より説明 来年度の実施予定について説明

○事： 来年度も今年度と同程度の予算を組む予定。現代的課題・地域課題・歴史講座・県立近代美術館との連携講座など各種予定している。人権講座は、出張講座の予算を減らした分、例年より予算をかける。逗子葉山高校が来年度より開校するので、それに合わせて高校生向けの講座を実施する予定。家庭教育講座は来年度もオンラインでの実施を進める。

○委： 元気な高齢者向け、と言う注釈があるが、これはどういった講座か。

○事： サードエイジ講座など高齢者も積極的に参加してもらえるような講座をピックアップした。

○委： 外出が困難な高齢者やマイノリティの方達をサポートして、参加ができる講座も必要になってくるのではないか。

○委： 子育て世代の逗子への移住を後押しするような講座があると良い。

### ●議題（3）社会教育推進プランの改定について

○事務局より説明

○委： 前回の社会教育委員会議において、計画の統合について話をした。新しいプランの策定にあたっては市民協働課が進めるので、今回のこの議題に関しては市民協働課が進行する。

○市民協働課： 社会教育推進プランと生涯学習推進プランと共育のプラン、この3つを統合する形で進め、令和5年12月にかけて作成していく。その作成にあたって、本日は委員の皆様の見解を伺いたい。（以下、社会教育・生涯学習・共育のそれぞれの概念、これまでの流れや役割等、資料による説明）

○委： 前期計画ではまちづくりへつながる人づくりを目標にしていた。しかし個の学びになっているのが現状である。

○市民協働課： 講座を受けて市民活動の団体を作った例が過去にも多数ある。

○委： まちづくりの市民活動を継続するための支援として、講座の設計時に市民活動のリーダーと話し合うことが大切。そういったグループを作れるような講座も設けられればと思う。また不登校の問題にも目を向けてもらいたい。

○市民協働課： 団体の支援は全くではないが、あまりできていないのが現状だ。交流センターでいくつか団体の支援に関する講座を行っている。

- 委： フリースクールに働きかけて不登校の問題に関する講座を作るなど、現代的課題に関わる人とアプローチ出来ると良い。
- 委： 学校支援地域本部事業で昔あそびや被爆体験の伝承などを行っている。子どもたちに世代を繋げて拡がりを持たせたい。市民団体と学校との連携もできればと思う。
- 市民協働課： 市民講師登録など用意はしているが、活かしきれていない。学校と地域が一緒になって何かをするというのは、今後重要になって行くと思う。検討していきたい。
- 委： 新方針として、行政計画の必要性は分野ごとに個別に判断する方針となる、とあるが説明をお願いしたい。
- 市民協働課： 8年前に縦割りの計画にならないように3階層の計画を作ったが、評価にかかる進行管理の事務量が多すぎるので、このような方針を挙げた。
- 委： 講座が市民活動まで発展せずに、個人の学習で終わったとしても良いのではないか。最終目標が市民活動の発展だけでは窮屈では。
- 市民協働課： 市民活動になりそうなものを逆算して講座を打つだけでは、市民のニーズに答えていない。自主的な学習を続けていくことも大事だ。すべての講座が市民活動に繋がる事が目標ではない。
- 委： 居場所づくりが重要ではないか。居場所からさらに市民活動に発展する人が出てくると理解している。
- 事： 今回も様々な意見を伺えた。新年度以降も引き続き意見を伺い、プランを作成していく。

## ●その他

次回、令和5年度第1回教育委員会議は、令和5年6月7日（水）14時30分より開催。

## ●閉会

委：は委員、事：は事務局が発言した内容。